

## 山行報告書

受付 No.	343	登山地・ルート	赤岳
目的	冬山に向けてのトレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
12・17・土	晴	浜松＝美濃戸口～行者小屋～赤岳～行者小屋～美濃戸口＝浜松 7:12      9:59      12:21      13:30      15:30

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

自宅で仮眠を取り、例のごとく行くか行かないかぎりぎりまで葛藤しながら出発する。美濃戸口の駐車場に着くと、たくさんの方が出発準備をしていた。雪道の林道を歩いて美濃戸山荘へ。ひと息つこうと思うがグループの先客がいると入りにくい。そのまま南沢沿いの登山道に入る。山の方はガスっているが天気は悪くない。展望を期待する。半分を過ぎたくらいで先頭がバテ気味の5,6人のグループの後ろをとぼとぼと歩く。

行者小屋にてアイゼン装着。ガツンとくる寒さで、アイゼンを着けるときに指が凍えた。地蔵尾根から上がって行くと霧氷が着いて木々は真っ白。青空によく映えた。地蔵尾根の上部はハシゴもクサリもちゃんと出ていて問題なし。稜線に出ると強風に吹かれたので、ヤッケのポケットにスタンバイしておいた目出帽を被る。地蔵尾根では人に会わなかったが、赤岳に向かうと下りてくる人が結構いた。赤岳を越えて文三郎尾根を下る。

山頂直下の岩場、アイゼントレーニングを意識してもっとちゃんと下りればよかったけど、クサリを頼っていい加減なフットワークで下りてしまったのは勿体なかった。阿弥陀への分岐から下の厄介なメッシュのハシゴには雪が着いて下りやすかった。

行者小屋でアイゼンなど外し美濃戸口へ。登山道の一部は南沢が工事中で、巻き道が付けられていた。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--



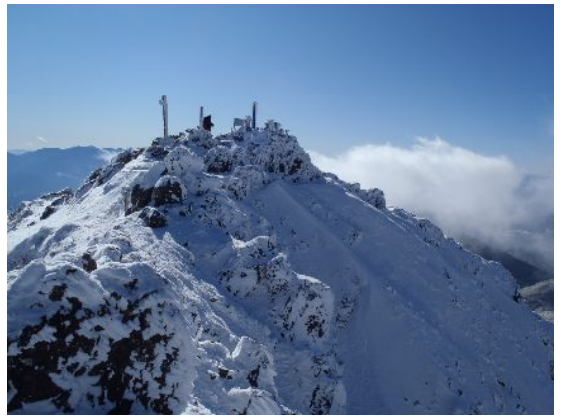
服に落ちた雪の結晶



阿弥陀岳



霧氷の林



赤岳山頂



文三郎道上部

